

MFER アプレット設定仕様

MFER アプレットビューアには `parm` タグを使用してインターフェースしている。(applet タグ又は object タグについては専門書を参考にしてください)

1. パラメータ概要

applet タグを使用した場合のパラメータの例は以下の通りです。

[例]

```
<applet ARCHIVE='mwave.jar' code="Mwave" width=1020 height=665>
  <param name="MFER" value="0001_1_20030728_093143.mwf" >
  <param name="CHN" value=" aVL,1,-aVR,2,aVF,3, V1, V2, V3, V4, V5, V6" >
  <param name="SMOOTH" value="1" >
  <param name="FILTER" value="30/IIR" >
  <param name="PEN" value="2" >
  <param name="SUBWIN" value="ON" >
</applet>
```

2. アプレット表示ウィンドウ (必須)

ビューア上で表示するための Java クラスは `Mwave` で記述します。その際に使用されるウィンドウは、幅 `width`、高さ `height` で指定します。注：クラスは現在 3 (class)使用しています。

[例]

表示幅 1020 ピクセル、高さ 665 ピクセルを指定する場合。

```
<applet ARCHIVE='mwave.jar' code="Mwave" width=1020 height=665>
幅は、表示心電図が 6 チャンネル以上の場合は、同ピクセルの 1/2 になります。
```

3. MFER 心電図ファイル (必須)

MFER で記述された心電図ファイルの指定は `MFER` タグを使用して指定します。

[例]

```
<param name="MFER" value="0001_1_20030728_093143.mwf" >
```

4. 表示チャンネルの指定 (オプション)

デフォルトでは記述されている心電図を全て (12 誘導まで) を表示します。四肢誘導で I 誘導、II 誘導のみの場合は、III、aVR、aVL、aVF 誘導は合成され表示されます。6 誘導表示までは、画面表示指示された幅(`width`)全体を使って表示されます。6 誘導を超えた場合は 1/2 分割されて表示されます。

[例]

本例は、12 誘導を電気軸順に並べ替えて表示をしたもので、aVL、I、順に表示しています。四肢誘導においては、I、II、III 誘導はそれぞれ、"1"、"I"、"2"、"II"、"3"、"III"として指定

できます。また aVR においては、-aVR として指定することで、+-電位を逆に表示することができます。カブレラ誘導表示を行うときの例は下記の通りです

```
<param name="CHN" value=" aVL,1,-aVR,2,aVF,3, V1, V2, V3, V4, V5, V6" >
```

[例]

MFER で記述された心電図のチャンネル番号を直接指定できます。本記述で指定された波形では誘導合成は行うことはできません。

```
<param name="CHN" value=" @1,@2,@3,@4" >
```

4. 表示モード (オプション)

CRT や LCD によってはアンチエリアシングが不適切な場合があります。その際に直接アンチエリアシングモードを指定します。

0. 心電計モード、選択心電図部のアンチエリアシングは行いません
1. アンチエリアシングモード、選択心電図部のアンチエリアシングは行いません
2. 心電計モード、選択心電図部はアンチエリアシングを行います
3. アンチエリアシングモード、選択心電図部もアンチエリアシングを行います(ビューアコンピュータの処理能力が必要になります)

[例]

アンチエリアシングモード”3”の指定

```
<param name="SMOOTH" value="3" >
```

5. 高域遮断フィルタ指定 (オプション)

筋電図などの混入した場合に使用する高域遮断フィルタの設定を行うことができます。

[例]

30Hz でバターワース IIR フィルタを使用する場合の指定

```
<param name="FILTER" value="30/IIR" >
```

[例]

50Hz でバターワース IIR フィルタを使用する場合の指定

```
<param name="FILTER" value="50" >
```

[例]

30Hz の FIR 直線位相フィルタ (無位相フィルタ) の指定
(処理系によっては表示が遅くなることがあります)

```
<param name="FILTER" value="30/FIR" >
```

6. 表示基線幅 (オプション)

心電図基線の幅を指定します。

[例]

基線の幅を 3 ピクセルにする場合(デフォルト値 2)

```
<param name="PEN" value="3" >
```

アンチエイリアシング表示には、value ="1.5"のように使用できます

7. 全心電図サブウィンドウ表示・非表示（オプション）

サブウィンドウの表示を行わない場合などに使用します。サブウィンドウを OFF にした場合は必要に応じてスクロールバーが表示されます。

[例]

表示を行わない場合

```
<param name="SUBWIN" value="OFF" >
```

[例]

表示を行う場合

```
<param name="SUBWIN" value="ON" >
```

8. 心電図表示誘導選択

心電図誘導表示を 6 チャンネル(例えば 6×2 誘導表示)か 3 チャンネル(例えば 3×4 誘導表示)の切り替えを行います。6×2 誘導表示を行う場合は、画面左部に表示される四肢誘導波形と画面右部に表示される胸部誘導波形は同一時刻の波形が表示されます。3×4 誘導表示の際の標準指定には、画面左部の I、II、III 引き続き aVR、aVL、aVF および V1、V2、V3 および V4、V5、V6 の波形は、連続した時刻の波形が表示されます。

[例]

6 誘導表示(デフォルト)

```
<param name='ROWS' value='6'>
```

3 誘導表示

```
<param name='ROWS' value='3'>
```